

令和3年度 第6学年 授業改善推進プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題 (思・判・表または、態)	重点をおく単元、 カリキュラムデザイン	授業改善に向けての具体的な方策 ※課：課題 発：発問・指示・板書 教：教材の工夫 他：その他
国語	(態) ・言葉に対する認識が低く、人との関わり合いのなかで思いや考えを伝え合うよさに気付き、生かそうとすることができていない。	・「みんなで楽しく過ごすために」 ・「大切にしたい言葉」 総合「チャレンジマイテーマ」との関連	教・単元の学習の見通しと獲得すべき資質・能力について児童自らが把握し、主体的に学びを調整できるように、学びの経過を表す図を児童に作成させる。その際に、「言葉」および「関わり合い」についての目標が立てられるよう、学習内容を意図的に設定する。 課・書いた文章を友達と読み合い、友達同士で推敲する活動を行う。
社会	(思・判・表) ・課題について、複数の資料を関連させて考えることができない児童が多い。	・「武士の世の中へ」 ・「戦国の世から天下統一へ」	教・資料を精選し、着目すべき点を焦点化させた資料を配布し、資料を関連させて読み取り、考える思考を意図的に育んでいく時間を設定する。 他・毎時間の課題を捉える際、前時までの流れを確認したり、学習の節目で、年表を活用して復習したりし、児童の思考がつながるようにする。
算数	(思・判・表) ・1学期のワークテストでは、分数の倍を除き、全ての単元で平均90%に達している。割合の考え方に課題がみられる。	・「拡大図と縮図」 ・「比例と反比例」	発・課題提示の際は、デジタル教材や具体物・半具体物を利用して、視覚的・感覚的に問題をイメージできるようにする。 教・問題文を確実につかみ立式するために、自分で必要な数字や情報をまとめたり、解き方の理由を説明したりする時間を設定する。
理科	(思・判・表) ・多面的に考察することが難しい児童が多い。	・「てこ」 ・「水溶液」	発・考察する場面で、自分や他の班の実験から分かること、まだ分からないことや疑問を整理して書くように指導する。 他・ノート指導の充実を図り、既習を振り返りながら考察ができるようにする。
音楽	(思・判・表) ・学習カードの記述や発言等で定着したと考えられる学習内容について最終時に紹介文などにまとめる際、既習の内容を生かしたまとめをすることに課題のある児童が多い。	・「曲想の変化を感じ取ってきいたり演そうしたりしよう」	発・音楽表現を工夫するための思考の手掛かりになるよう、学習の中心となる〔共通事項〕が明確になるような発問を吟味する。 教・学びを振り返りながら学習することができるような学習カードを作成する。
図工	思・判・表 ・題材のめあてをよく理解し、自分がどのように表したいのかよく考えて、題材に向き合うことに課題がある児童が多い。	・「墨から生まれる世界」 ・「ミラーボックス」(工作)	教・児童の実態に合わせて、手ごたえを感じられる題材を設定し、工作の楽しさや基本の技術を体験していく機会を多くする。

令和3年度 第6学年 授業改善推進プラン

文京区立駕籠町小学校

<p>家庭科</p>	<p>(態) ・意欲的に取り組む児童が多いが、学びを家庭や日常生活でも生かそうと、実際の行動に移す児童が少ない。</p>	<p>・「朝食から健康な生活を」 ・「夏をすずしくさわやかに」</p>	<p>教 家庭で取り組めるようワークシート等を工夫し、課題を出す。家庭で取り組んできたことを授業で共有し、互いに学びを深める場を設定する。</p>
<p>体育</p>	<p>(態) ・運動意欲、技能の面で個人差があり、様々な動きに対しての実践意欲が低い児童が多い。</p>	<p>・体力を高める運動 ・ハードル走</p>	<p>教 ・少し頑張ればできそうな課題を設定し、スモールステップで取り組めるよう、児童の体力に見合う動きや魅力のある場を用意する。 教 ・学習カードを工夫し、自分に合っためあてをもち、活動の振り返りを次時に生かせるような取り組み方ができるようにする。</p>
<p>外国語</p>	<p>(態) ・積極的に英語を活用して、コミュニケーションを図ろうとする児童が少ない。</p>	<p>・「We all live on the Earth.」 ・「Let's think about our food.」</p>	<p>教 ・新しい英文表現や単語は、ALTの言った後にテンポよく繰り返し練習し、リズムで英語表現に親しみ、活用できるようにする。 ・英語で伝え方が分からない時でも、知っている英単語やジェスチャーで伝えるなど、短時間の「All English Time」を設定する。</p>